



### 原子力ポリシースクールを開催しました

平成 27 年 2 月 23 日から 27 日までの間、国際原子力機関（IAEA）、原子力国際協力センター（JIICC）との共催で、アジア 4 か国の原子力政策を担当する行政官 7 名を対象とした原子力人材育成研修「原子力ポリシースクール」を開催しました。

同コースでは、講師として IAEA や国内の大学・行政機関などからの専門家を招聘し、原子力・エネルギーの国際情勢に関する講義や日本の原子力政策に係わる講義のほか、敦賀市長による原子力発電所の立地と市町村との関わりに関する講義、福井県の原子力安全や防災に係る講義など計 13 の講義を実施しました。また、地元の原子力関連企業や関電美浜発電所など計 6 ヶ所での施設見学を行い、立地地域が原子力発電と関わってきた経験や知識を紹介しました。

参加者からは、「原子力発電プロジェクトを推進する上で、いかに地方自治体が重要な役割を果たすかという情報と知識を得ることができた。福島事故後の日本の原子力政策に関する新たな知識を得ることができた。」との感想をいただきました。



河瀬敦賀市長による講義



地元原子力関連企業  
（株）プラントテクノス社（敦賀市）訪問

### 福井県国際原子力人材育成ネットワーク協議会を開催しました

平成 27 年 3 月 6 日に、福井県とエネ研の共催により福井県国際原子力人材育成ネットワーク協議会（会長＝旭信昭・エネ研理事長）の会合を開催しました。

当協議会は、福井県が国際的な原子力人材育成の拠点として、アジアをはじめとする世界の原子力の安全技術向上と人材育成に貢献するため、福井県国際原子力人材育成センターを核に、人材育成機関・研究機関などとの連携の強化、人材育成事業の充実などについて協議することを目的として、平成 23 年度に発足しました。

会合では、旭会長からの「将来にわたり原子力の安全性を確保・向上していくためには、人材育成が不可欠であり、原子力先進地としてアジアの国々の期待に応えるべく、引続き人材育成事業を充実していく。」との挨拶に続き、人材育成センターや県内大学などが平成 26 年度に実施した原子力人材育成の状況を報告しました。また、国および人材育成センターからの今後の原子力人材育成の方向性についての説明の後、意見交換が行われました。

委員の方からは、「原子力の平和利用が、諸国の発展に役立っていることを発信していく必要がある」「廃炉に向けて国内人材育成を充実する必要がある」「原子力人材の実習の場がなくなっていることから、教育用研究炉の検討が必要である」との意見が出されました。また当協議会では、「国と人材育成センターの取組みの方向性は合っており、今後も維持していくこと」「関係機関と連携し、今後も人材育成を進めていくこと」を確認しました。



開会挨拶の様子

## つるが環境フェア 2015 に出展しました

つるが環境フェア2015「グリーンピクニック」が、平成27年3月14日（土）に敦賀市きらめきみなと館で開催されました。当イベントは「楽しみながら健康的に過ごす、環境にやさしい1日」をテーマに開催され、来場者約4000人を迎えました。パネル展示では43の企業団体がブースを設置し、自社の取組みを紹介していました。

エネ研のブースでは、県内企業がエネ研の支援事業を活用して開発した新製品や研究開発の取組みを展示・紹介しました。

今回は特に家族連れの来場者の方によく立ち寄っていただき、エネ研職員に対し熱心に質問をされていました。



エネ研紹介ブースの様子

## エネ研 特許紹介 「ポリイミド系高分子アクチュエータ」

発明の名称：ポリイミド系高分子アクチュエータ、及びその製造方法

特許番号：特許第5598817号

関西電力(株) / 日本原電(株) / 北陸電力(株) /  
エネ研 / 福井大学 共有特許

### 【特許の概要】

アクチュエータとは、入力された電気エネルギーを機械的な動作に変換するもので、従来の高分子アクチュエータには、高分子素材としてデュポン社が開発した「ナフィオン」が用いられてきました。

エネ研では、「ナフィオン」に代わる高分子素材として、耐薬品性、耐熱性、耐放射線性に優れたポリイミド系高分子を新規に合成し、それを用いたポリイミド系高分子アクチュエータを発明し、特許を取得しています。

### 【特許の活用方法】

高分子アクチュエータは、高分子素材自体が動力源であることから、高分子の特徴である成型が容易であることや柔軟で軽量であることを生かして、必要とされる運動をさせるための素子構造を自在にデザインすることが出来ます。今後、マイクロポンプや能動カテーテル、触覚センサなどに活用されることが期待されます。

<高分子アクチュエータとは>

イオン性の高分子素材に電圧を加えることで、イオンが電極間を移動し、体積に偏りが生じることで、高分子素材自体が湾曲運動するものです。

